

第64回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】

番組部門 審査結果及び講評

種	審査順	学校名	作品名	結果	講評
ラジオドキュメント	1	箕面自	ゲーム世代	4位	冒頭に「なぜこの内容を伝えたいのか」という企画のねらいがほしい。2'40ごろの「ゲーム好きの親はゲームを認める」あたりから、企画の意味合いが伝わってきた。このポイントをもっと早く持つべき。余談だが、40代の先生がそれだけゲームをしているのが衝撃。良い子の結論になっていることが平凡でつまらない。ゲームの学習への影響についてもあれば良かった。音がクリア。463人生徒と469人の親へのアンケートはすごい。いい視点の親の35%がゲームをしているのはおもしろい。親もハマっている実態や新ゲーム世代のとらえ方はいい。ただ、ゲームをどう活かすかといった新しい視点もほしい。親がゲーム世代という点をよくインタビューし、まとめられている。親がゲーム世代の子ども(新ゲーム世代)のあり方のまとめが一方的すぎたかもしれない。数多くの取材やインタビューができており、音声もクリアに取れている。テーマもおもしろい。音の処理がよく、聞きやすい。先生へのインタビューは少し長く感じた。時代や親の考え方の変化をよくとらえた内容で、驚くことが多々あった。ゲームに支配されることのおそろしさやそれに警鐘を鳴らしていることにも説得力がある。いいドキュメントだった。どのような方法でアンケートをとったのか知りたい。録音レベルにムラがある。ゲーム好きの親という題材はおもしろい。先生の話が少し長い。タイトルにひねりがほしい。
	2	金剛	共育	2位	冒頭に「なぜこの内容を伝えたいのか」という企画のねらいがほしい。「共生推進教室」の取り組みを誰が進めていきたいのか、主体が不明確。4分ごろの生徒の生き活きた体験談は魅力的。それに答える先生のインタビューでようやく取り組みのねらいがわかった。「共生推進教室」のメリット・デメリットが分かりやすい構成だった。伝達力あり。音響効果がもう少しあれなよ。テーマが評価できるものだった。音がクリア。身近で特色ある素材への注目はいい。ただ、単なる学校側のプロパガンダになってしまう危険あり。先生のコメントや生徒の優等生的な答えが多いので、もっと多角的に見てほしい。共生推進校という学校のいろいろな面をていねいに取材している。「キョウイク」「キョウセイ」の漢字がぱっと出てこないで、意味の説明がほしい。音の処理◎ 非常に聞きやすい。質問の仕方が上手。生徒や先生のインタビューは障がいを持つ人に対する考え方や取り組みを考えるきっかけとなり得る。よいドキュメントだった。「共に学び、共に育つ」というメッセージ性も◎ 難しいテーマに対して取り組んでいる。取材の量も多い。誰にインタビューしているかが分かりにくい。問題提起から結論への構成が弱い。タイトル良い。サブタイトルもほしい。
	3	夕陽学	人生の課題	入選	冒頭が問いかけて始まるのはいい。しかも、友達という普遍的なテーマなので誰もが自分のこととして捉えられるから。テーマを1'00代で出すもの工夫を感じる。カウンセラーのインタビューも効果的で、レポートに客観性が加わる。高校生の独白も魅力的。音声だけなのもかえってリアリティが立っている。タイトルに工夫がほしい。「友情の大切さ」の伝達力あり。音がクリア。30人のアンケートはよく取った。スクールカウンセラーの意見に頼らず、リアルなインタビューがいい。生徒個々のインタビューが生き活きている。ナレーションがうまい。キケロの言葉からラストメッセージも面白かった。友人関係と言う身近で象徴(抽象)的な話題を同世代にたくさん取材し、その悩みを分かりやすくしている。スクールカウンセラーや先生の解説も分かりやすい。テーマは「友情」? 少しテーマが分かりにくい。インタビューの音の処理、録音方法の工夫を。聞きづらい所あり。また、意味なくインタビューにBGMを重ねるのは× 効果的でない。高校生のリアルな声が聞けるのはいいが、内容としてはごく当たり前のものでもう一伸びほしい。中村先生の言葉はいいものだった。BGM、音量、間の取り方、細かな調整ができています。ただ、BGMが多い。効果音も不要なものがある。アナウンス上手。テーマが分かりにくいので、最初に何のドキュメントなのか説明したほうがいい。
	4	四天	あか・あお・みどり!!	1位	謎めいたタイトルは魅力的。学年の色というある種平凡な日常の事実から企画のテーマへ展開していく家庭にもオリジナリティを感じる。根拠のなさそうな言い伝えをリサーチしていくのも、TVのパラエティーを見ているようで面白い。思い込み→現実を学校で検証し、専門家にぶつけるプロセスはエクセレント。赤・青・緑の思い込みがモチベーションに影響するというのは興味深く面白い。効果音いい。伝達力あり。音がクリア。200人のアンケートよく取った。「色の伝説」検証はおもしろい。数値では出ない「変人が多い」。「あか」の特色は出なかったね。カウンセラーの分析が結論はさびしい。テーマとしてはあまり意味がないかもしれない。学年カラーごとの「カラー」を思い込みというポイントで深めていておもしろい。取り上げたテーマがおもしろい。先生へのインタビューなのか、生徒へのインタビューなのかのあたりが分かりづらいところがあった。色をテーマにするのであればラジオよりもテレビでやるべき。もったいない。おそらく他校にもあるであろういい題材を使っているのでもっと調べる範囲を広げてほしい。緊急を要するものでもないのに、専門家へのインタビューは電話よりも直に行ったほうがよい。おもしろいテーマを選んでいる。タイトルコールも予選より良い。目立つ悪い点はない。さらに点数を上げるためには他校のやっていない工夫をするべき。よくある構成が残念。取材も足を運ぶべき。
	5	成美	歴史を感じる	入選	これは誰に向けた企画なのだろうか。成美高校の関係者以外に興味をもつ人がいるだろうか。そのねらいをしっかりと設定しないと、放送の内容がアタマに入って来ない。誰に、何を、伝えたいのか。骨太な企画のねらいをとにかく大切にすること。古墳作りに対する歴史的考察があれば良かった。音がクリア。「古墳作り」の継承と経験した先輩に聴くのは身近でいいテーマだった。5メートルの苦勞から歴史を実感するものリアル。生徒が作ったものと先輩たちが見られるのも大きな意義あり。テレビで見た1番組。作業工程や古墳本体を見てみたかった。古墳の規模を最初の方でアナウンスできていればもっと良かった。題材は他にない大変おもしろいものだと思うが、導入にもっと工夫を。ラジオではなくテレビの方が古墳も見せられるいいのではないかと。もったいない。古墳作りを通して学べたことはとても良いインタビューになっている。いい聞き方ができている。ただ、まとめ方が少し弱いか。おもしろい題材だったと思うが、音声のみのためおもしろさが伝わってこない。同じ内容でも映像なら作業のイメージがしやすく、興味をもって見れたと思う。技術面ではよくできている。
	6	近大附	前を向いて歩いてますか?	3位	タイトルコールのアナウンスが呼びかけ風になっていたのは面白かった。専門家の意見を早めに出したのもいい。3'20くらいの矢継ぎ早にインタビューをつないでいく演出は魅力的。4'30過ぎからテーマが深まっていくところもうまい構成。最後の結論がやや急いでいた感あり。専門家への取材や年代別の「ながら」を取材するのは面白い。音がクリア。インタビューのコメントがわりにパターン化、ニュースや記事によくあるコメントになっている。近大教授の扱いは「ウェアラブル端末」の発達。その説に頼りすぎている。もっと生徒の想像力、未来予見を聞かせてほしい。スマホのいろいろな面についてよく調べているが、タイトルとの整合性がとれていない感じがある。「ながらスマホ」「ながらラジオ」は違うと思う。「スマホ」がテーマなのか「ながら」がテーマなのかははっきりと。テーマは高校生の身近にあるいいものとおもうが、ぎゅぐゅとあふれた題材とも言える。途中で「ながら」の話が入ってくるが、テーマがふれている。教授の話に焦点を当てて、人と道具のあり方を問う方が独創性がうまれたのではないかと。歩きスマホの話から脱却するものもあり。スマートフォンのドキュメントは多いため、もう少しテーマに工夫がほしい。途中の集計シーンをいれているのはおもしろい。前半のアナウンスの音割れが気になる。大学の先生の取材がいい。○○代○○代の流れがいい。

第64回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】

番組部門 審査結果及び講評

種	審査順	学校名	作品名	結果	講評
T V ド キ ュ メ ン ト	1	成 美	食堂美を成すプロジェクト	4位	冒頭をもっと大切に。今何の問題が起きていて、それに対して誰がどうしようとしているのか、状況を分かりやすく書くべき。壁画のこと、メニューのことなど、やったことを羅列するだけではNG。どういうストーリーで視聴者を引っ張るのかという意識が必要。食堂リニューアルというメッセージはある。字幕があればよかった。5ヶ月間の流れが必要。アンケートよくやった。よく取材もし、細々といろんなシーンを精力的にインタビューとシンクロさせて食堂のリニューアルをうまく追った。グラフの使い方、カットバックもいい。生徒会の成長がリアルタイムで追えている。ただし、インタビューだけで単調にならないよう工夫を。生徒会活動のドキュメントではなく、生徒会の広報のような印象を受けた。元の暗い食堂の様子が画像でほしかった。よいテーマを取り上げた。映像と音は別で撮ったほうがよい。音がクリアに入るはず。インタビューの対象をあえて同じ人しているのかもしれないが、複数の意見を聞いたほうがよいのではないか。たいへんよいプロジェクトで満足感あり。なぜ食堂アンケートを取っているのか分かりにくい。音声聞き取りにくい部分が多い。食堂に絵を描くことになった理由が分からない。カメラワークがよい。編集もシンプルで見やすかった。
	2	箕 面 自	リアス海岸に咲く椿	1位	冒頭から延々と説明が続くのはいただけない。基本的に視聴者は“説明”は聞きたくないもの。説明をいかにストーリーに組みこんでいくか。そこに一番の工夫が必要。あと、インタビューばかりでつなぐのは工夫がない。事態が動いている感じがしない。歌が出てくるのが遅い。新聞記事を効果的に使用し、各活動場面を入れることで、言いたいことがよく伝わる。ミュージシャンを効果的に使っている。貴重な活動をキメ細やかに取材している。インタビューシーンを単調にならないようにインサートにも工夫が見られる。地道に地元の人々につながり、長く取材の努力をこつてこそできる作品、よくやった。今後も続けてほしい。吹奏楽部？カメラアスの活動？交流？きもちを伝える？どれを伝えたいのか視点をしっかり定めた方がよい。震災・復興という重たいテーマにしっかり取り組んでいた。単純に映像の作り方が上手い。インタビューの途中で差し込まれる映像が非常に効果的で◎ 音楽の使い方もいい。各所の映像にも力があって、いい絵がたくさん撮れていると感じた。すばらしいドキュメントだった。吹奏楽の生徒たちの言葉とインタビューの対比がよくできている。編集もカメラワークも良い。取材の量も多く、音量レベルも良い。高校生に向けて、どのようなメッセージがあるのか疑問。
	3	金 剛	高校生を蝕む闇～ブラックバイト	2位	「アルバイトをしたことがありますか？」→ブラックバイトの実態を提示するという滑り出しは上手く、一気にテーマを追っている。その後、高校生がどうすべきかとの展開も見事。ブラックバイトという高校生にとって大切なテーマを取り上げている。高校生に向けた作品として適している。ユニオンの人、労基署への取材など、周辺取材への意識も高い。高校生がどうすべきかについて具体的な言及があるのもよい。ブラックバイトに対する高校生の意識改革をよく促している。労基署や関西学生ユニオンへの取材は説得力あり。280人アンケートよくやった。外国人労働者が低賃金ですますます多く入国してくる現状への認識が甘い。ユニオンに「学生が相談できないのはなぜか？」を追求してほしかった。バイトを切られると生活できない学生も多い。高校生の労働＝アルバイトの実態が分かった。幅広くインタビューが取れている。高校生のかかえるアルバイトの問題にしっかり取り組んでいる。生徒の声がよく撮れている。インタビューの仕方が上手。カメラ2台を使っているのも◎ アンケートが舞う映像の使い方が下手。協力してくれる企業はいないと思うので、難しいのはよく分かるが、実際にアルバイトをしている映像があるとよかった。最低賃金の話が最後にあったが、もっと前に見せる方がいい。構成の工夫を。アンケート調査の量多い。1画面に多くの文字を表示するのは良くない。
	4	箕 面 自	同情なんていらない！	入選	冒頭の小芝居に工夫を感じる。アレルギーそのものではなく、アレルギーがもたらす自意識の苦しみに光を当てたのは新鮮。NPOでの母親のインタビューにはグッときた。アレルギーをめぐる人々の苦しみが直に伝わってくる。アレルギーが作る心の壁がいちばん問題なのだとよく分かった。食物アレルギーへの理解が深まった。アレルギーという取り上げづらいテーマによくチャレンジした。NPO、母親へのインタビューよくやった。「食べられるもの何？と聞いてあげればいい。」という逆転の発想もいい。インタビューシーンが多いのでインサートの工夫を。最後の言葉をタイトルにしたらいと思う。伝えたいということができるだけ前に持っていった方が分かりやすい。アレルギーを持つ生徒の本当の気持ちをうまく引き出せていた。タイトルから内容が分かりにくい。アレルギーに対する偏見や現状がよく分かるドキュメントで、社会の問題にもよく切り込んでいると思う。分かりやすく伝えるための構成の工夫を。今のままでは言いたいことがボケている。高校生に向けたメッセージとして考えられたテーマである。インタビューの量も多い。編集もよくできている。終始テンポが同じであるため、後半にかけて見飽きてくる。
	5	堺 西	教科書をとびだせ！	3位	国語の先生はユニークで魅力的だが、なぜこの先生のストーリーから始まるのか、企画のねらいを伝えてほしい。実証実験のアイデアはすばらしい。が、具体的にどんな実験をしたか、もう少し知りたかった。後半、米田先生の個人的なエピソードに寄って、企画全体の狙いがブレた気がする。インタビューする生徒の回答にも少し内容があればよい。実証実験が面白い。ただ、劇までできない生徒がいる高校もある。米田先生のユニークさがよく生徒に伝わっていた。離任式の取材もリアルでよかった。米田先生の人から授業の様子が伝わった。ユニークな授業を行う先生をよく取材できていた。撮影中のカメラのブレが気になる。三脚か固定する工夫を。米田先生の手紙の「会者定離」という言葉の深さが分かりますか？テストの結果を踏まえての米田先生のインタビューがないのは致命的。手ぶれが多く気になった。黄緑色のスライドが見にくい。実験としてゲーム性を持たせている点がいい。他校の実践との比較等、インタビューをもっと校外で行うと良い。
	6	鶴 見 商	Starting small.～広げたい支援	入選	誰がこのストーリーの主人公なのか、もしくは、何を伝えたくてこのテーマを企画にしたのかが、冒頭から3分たっても不明瞭。これとただの事実の羅列になってしまう。視聴者をどういう気持ちにさせたいのか、もしくは何を分かってほしいのか。まずはその立ち位置をはっきりさせないと。地域連携からこどもホスピスへと、鶴見商業の活動がよく分かる内容だった。地元のいい素材に着目している。地元と連携したユニークな活動の報道PRとしても意義あり。インタビューシーンが単調になりがちなのでインサートに工夫してほしい。これからも地域連携活動の取材を続けてほしい。子どもホスピスを通じての支援の輪を丁寧に取材できている。静止画が少し多かった。もっとしっかり取材をすること。ホスピスとの関わりをメインにするのか、高校の活動・部活の内容をメインにするのか、はっきりさせた方がよい。地域連携プロジェクトとは？という話でまとめた方が、全体としての印象はまとまるか。情報が多すぎて肝心の部分がボケている。活動は大変よいものなので構成の工夫を。手ぶれがある。インタビュー中に字幕があっても良い。字幕が見にくい。無音の部分が多い。アナウンスの声が小さい。

第64回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会【決勝】
番組部門 審査結果及び講評

種	審査順	学校名	作品名	結果	講評
ラジオ ドラマ	1	槻の木	あんこーるでラブコール	2位	あんこをめぐる設定は面白い。内容も深いものがある。話の展開が急すぎて(情報量が多すぎて)ついて行くのがしんどい。二人の掛け合いシーンは良いが、もう少し練習すればさらに良くなるかと。ジャングルみたいな通販サイトの権力が強すぎないか？
	2	箕面自	本命	3位	音の処理、演技力ともに良い。非常に聞きやすい。ベタな展開かと思いきやうまくストーリーがまとめられていた。アヤネがアメを渡していなかったのも小気味よく裏切られて良かった。ただ、ラストシーンはあれでよかったか？
	3	桃山	俺は王子	入選	姫の違いを声だけで判断するのはキツイ。王子の王子感はとても良い。各キャラクターのしゃべり方等はよく研究されていると思うが、中盤からの冗長性のせいか、肝心の設定やストーリーが頭に入っていない。もっとドロドロした話が見てみたかった。
	4	槻の木	ForGetting Love	入選	2人の客観的な情報が少なく、どういう関係が見えなかったので感情移入しにくい。音声にエコーがかかり続けているのが気になる。音量不足？録音レベルの調整ミス？中盤でようやくエモーションが動き出したが、少しゆっくりし過ぎていないか？最後のシーンはもう少し練っても良いかも。
	5	箕面自	muscle	1位	エンターテインメント性も高く、レベルも高い作品。筋トレについての独白から始まるのはユーモラスで好印象。ドーパミンのくだりは面白くて良質な漫才のよう。内面を磨くことの大切さを説くというのはいいテーマだと思う。
	6	夕陽学	繋ぐ	入選	もう少しストーリーをまとめる。エッセイとドラマの違いを理解しよう。前半に客観的な情報が少ないので、設定がよく見えなかった。放送部を舞台にしたドラマはリアリティがあって良い。放送部あるあるは面白い。ただ、作品のテーマを伝えるためには、もう少し語りが必要か。

種	審査順	学校名	作品名	結果	講評
TV ドラマ	1	成美	オモイ	入選	同じ構図が続くのは、意図しているのでなければ単調すぎてマイナス。どうしてこの会話を聞かせられているのかもわからない。この状況で押すならば、相当会話がスリングでなければ面白くない。カレンダーに×印をつけることにどういった意味があるのか。
	2	箕面学	AI's (あいず)	3位	登場人物の置かれた状況がよくわからず、展開が急すぎてついて行けない。まずは制作者が客観的にモノを見るという視点を育てるべき。シーン間のエフェクトはプレゼン用の効果であるためドラマが見づらい。ストーリーにひねりはあるが、ストーリーの話に入るまでが長すぎ。
	3	箕面自	好きでいること	1位	ストーリーはよくまとめられていて、意外な展開にハッとした。荒削りながらもカット割り(効果的なアップ・指先など)にも意識がいていた。話にはなっているが「好き」と「腐女子」の告白の順序ってこれでいいの？自分を受け入れるというテーマは◎。
	4	仰星	声を上げること	2位	生徒会選挙を巡っての男女の対立という設定が面白くストーリーに引き込まれる。いくつかのシーンでセリフが切れているのはわざと？演技に関してはもう一つ。候補者以外が選ばれる(当選する)というのはアリなのか？黒味を多用しての編集は、ブツブツ切れる感じがしてイマイチだった。